

令和3年度 学校評価

愛知県立東海南高等学校

本年度の重点目標		求める生徒像 ・学びに向かう力の整った生徒…学ぶことの内在的な価値（考え抜くこと、わかる・できるのプロセス）を大切に、自己実現のための進路目標を設定して、その実現のために粘り強くやり抜くことができる生徒 ・社会性と人間性の豊かな生徒…社会の中で生きていく能力（基本的生活習慣、主体性、協働性、自己表現力、精神的な逞しさ）を有した生徒		
分掌	項目	重点目標	具体的方策	留意事項
教務部	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 目指す生徒像の実現に向け、学校全体として「確かな学力の育成」に向けたさまざまな指導形態を取り入れた指導の改善と充実への取り組み 目指す生徒像の実現に向けた、よりよい新教育課程の編成と評価の観点趣旨の確定 	<ul style="list-style-type: none"> 「確かな学力の育成」に向けた授業改善等のための指導法についての情報提供を行い、教科会などで活用してもらう。 外部講師を呼ぶなどして、より効果的な教科指導法への取り組みについての研修を実施する。 教育目標、目指す生徒像をふまえて効果的な教育課程の編成を継続して行う。 次年度からの新教育課程について、ルーブリックを制定し明確な形で評価するための準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導法について、対面授業だけでなくオンライン授業などについても、その特性が十分に発揮できるよう指導に盛り込んでいく。 新教育課程編成および評価の観点の制定について、人間として調和の取れた育成を目指す、発達の段階や特性を十分考慮するなど点を考慮して制定する。
総務部	防災教育	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に防災委員会を開催し、複数回防災活動を実施し、日常的に危機管理・安全意識を高揚させる。 防災委員を中心に、災害時に主体的に行動できる生徒の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分配慮しながら、防災活動を計画、実施する。
生徒指導部	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をしっかりとできる生徒の育成 いじめ、盗難等のない安全で安心できる学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や受け答え、職員室の入室等大人の対応ができること。 ボランティアや行事、講話等を通じて「おもしろい」のある行動がとれること。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時の指導やホームルーム等のさまざまな指導の機会を捉え、挨拶のできる生徒を育成する指導を重ねる。 問題行動やいじめ、いやがらせ等生徒情報のアンテナを広く張り、早目の対応をする。 保健部、学年と連携し、生徒の心の問題の原因を共有し、速やかな解決をめざす。
進路指導部	（進路キャリア教育）	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実 大学入試の変化への対応策の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的・系統的な進路行事の実施や進路情報の発信により、生徒が主体的に自らの進路目標を設定できるようにする。 大学入試に関する情報収集と整理を適切に行い、職員間で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年と連携して効果的な行事や学習会等の実施を工夫する。 大学入試改革について、講演会やその研究会等へ参加し、多面的多角的な視点の情報の収集に努める。
保健部	環境整備・安全教育	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察の徹底及び傷病発生の防止 教育相談体制の充実 校内清掃の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんだより」において、傷病予防等を扱い、注意喚起する。 HR担任による健康観察の徹底を図るとともに、生徒の些細な異変に気付いたら、学年会、教科会、校務委員会などでその生徒情報・状況を共有する。 全校集会などを通して、生徒に清掃の徹底を促すとともに、各清掃担当教員の清掃指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんだより」の作成では、生徒保健委員を参加させ、生徒の意識の高揚を図る。 教育相談においては、生徒の状況情報の収集と教員間でその共有を密に行い、適切に対応する。その際、個人情報の取扱には十分留意する。 清掃道具のチェックなど、清掃道具の十分な確保に努めるとともに、清掃場所の適切な清掃方法についての伝達に努める。
情報研修部	図書館運営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 前室にその時々話題に合わせた特設コーナーを設置する。 新規購入図書については、生徒が希望する本及び生徒に読ませたい本を中心に選定する。 1年生のLTの時間を利用して「回転本屋さん」を実施し、生徒が本に触れる機会をつくる。 階段踊り場の1分間読書を定期的に取り替え、来館を促す機会として利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だよりなどを通じて、適宜、新刊図書や特設コーナーなどの情報を発信する。
1年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えて主体的に行動する姿勢を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的かつ対話的な授業を実践する。 自学自習の習慣を確立し、進路目標に向けて着実に努力をできるようにする。 学校行事、部活動などを通じて、主体的に行動できる生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器やスタディサプリの効果的な活用法を研究する。 自ら課題を設定して行動できるように指導する。
2年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康を保ち、自ら学び続ける生徒の育成 中心学年として、学校行事・部活動等、後輩の模範となる生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に授業に取り組むため、家庭での学習を充実させる。 後輩に対し、温かい指導ができる先輩とは何かをつねに考えさせる。 1年後、成人を迎えることを機会のあるごとに伝え、注意点等をまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> スタディサプリの効果的な利用を研究する。 生徒との対話を通して中心学年としての自覚を持たせる。 成年年齢の引き下げについて正しい情報を職員間で共有する。
3年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望を実現するための基礎学力の養成とともに、高い志に挑戦を続ける力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路選択に必要な情報収集を行い、きめ細かく生徒に提供する。 生徒の自立的な学習意欲を促し、主体的に学べる授業を工夫する。 生徒の心身の健康問題を的確に把握し、迅速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員間・保護者との情報の共有
安全衛生委員会	長健康間障害防止による	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間調査結果を活用した時間外労働の縮減 年次休暇の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 教育系PC（タブレット端末）の電源オン・オフの習慣化を徹底し、それと連動する在校時間調査の記録に対する負担感を減少させる。 在校時間等の状況記録から、時間外労働の主な理由を確認し、業務の平準化や縮減を図るように努める。 年次休暇の取得状況に応じて、主に長期休業中の休暇の取得を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育系PC（タブレット端末）の電源オン・オフの習慣化に向けてこまめに声がけをする。 教職員が気軽に相談や情報交換できる職場の雰囲気づくり。
いじめ防止委員会	基基いづく方め取針防組に止	<ul style="list-style-type: none"> いじめの防止と早期発見のための組織的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。 全ての教員が、いじめに対する共通理解をもち、適切に対応できる力を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの防止と早期発見のための組織的な取組
安全衛生委員会	適勤正務な時間管理の	<ul style="list-style-type: none"> 業務の精選と業務工程の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況記録を活用して業務の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの保持に努める。 業務内容の点検及び精選を図る。 学校施設時間について、20:00（定期考査中及び長期休業中は18:00）と設定する。 部活動の活動方針に従い計画を立てるとともに活動時間について、周知徹底する。 年次休暇について、年5日以上取得を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の年次休暇の計画的な取得や適切に勤務時間の割振を執行するよう促進する。